

「今週の格付け情報」企業発表やニュースに関するコメント

2007年11月16日

「今週の格付け情報」は、スタンダード&プアーズが今週発表した信用格付けに関する情報をまとめたものです。

<ストラクチャード・ファイナンス>

- エル・ジャック・シックス信託受益権(975億円)に格付け
- 第8回住宅金融支援機構債券を仮評価
- SMBC 第16回住宅ローン信託受益権と特定社債に格付け
- アトラス・プログラムで実行される ABL を「AA」に格付け
- J-CORE FL1 の CMBS 案件、B-C 号信託受益権を格上げ
- シナジー・ツー・ファンディング優先受益権の B-E 号を格上げ

<海外>

- 英 HSBC ホールディングスのアウトルックを「安定的」に下方修正
- 独ドレスナー銀行のアウトルックを「安定的」に下方変更

<新規債券格付け一覧>

＜ストラクチャード・ファイナンス＞

エル・ジャック・シックス信託受益権(975億円)に格付け

スタンダード&プアーズは 12 日、総額 975 億円のエル・ジャック・シックス変動利付信託受益権 A 号-G-1 号、X-1 号、および X-2 号を格付けした。同信託受益権は最終的に、ニュー・センチュリー・ファイナンスが実行した 2 件の不動産を担保とする 2 本のノンリコースローンに裏付けられている。同案件は、リーマン・ブラザーズ証券により組成されている。当該予備格付けは、A 号信託受益権については配当が期日通りに全額遅滞なく行われ、かつ 2016 年 10 月の法定最終償還日までに元本が全額償還される可能性について、B-1 号-G-1 号信託受益権については 2016 年 10 月の法定最終償還日までに配当および元本が全額償還される可能性について、X-1 号および X-2 号信託受益権については配当が可能な場合に期日通りに支払われる可能性について、それぞれ示唆するものである。(松田吉隆)

第 8 回住宅金融支援機構債券を仮評価

スタンダード&プアーズは、貸付債権担保第 8 回住宅金融支援機構債券に予備格付けを付与することを前提に、信託候補債権に基づく仮評価を実施した。住宅ローン債権元本総額の概ね 7.5%程度の超過担保(機構債残高の概ね 8.10%程度)が設定される予定であり、この水準は機構債に「AAA」の格付けを付与するのに十分であるとスタンダード&プアーズは考えている。機構債の発行時期は 12 月上旬(条件決定は 11 月下旬)の予定である。この仮評価は 2007 年 11 月 15 日現在の情報に基づいており、今後入手する情報によっては予備格付けと超過担保の水準が変わる可能性がある。予備格付けは 11 月下旬に付与する予定である。(藪田浩)

SMBC 第 16 回住宅ローン信託受益権と特定社債に格付け

スタンダード&プアーズは 16 日、三井住友銀行第 16 回 RMBS の SMBC 第 16 回住宅ローン信託受益権クラス A1 とクラス A2 優先受益権、および SMBC 第 16 回 RMBS 特定目的会社 第 1 回特定社債を「AAA」に格付けした。同優先受益権は、三井住友銀行(A+/安定的/A-1)がオリジネートし、住友信託銀行(A+/安定的/A-1)に信託譲渡した住宅ローン債権により裏付けられている。SMBC 第 16 回 RMBS 特定目的会社は、クラス A1 優先受益権を裏付けとして、同社債を発行する。当該格付けは、同優先受益権および同社債の予定利払いが全額遅滞なく行われ、かつ同優先受益権の元本が 2044 年 10 月の法定最終償還日までに、また同社債の元本が 2044 年 11 月の法定最終償還日までに全額償還される可能性について示唆するものである。(清水俊明)

アトラス・プログラムで実行される ABL を「AA」に格付け

スタンダード&プアーズは、円建て変動金利アセットバック・ローン・コミットメント・ファシリティであるアトラス・プログラムにおいて実行されるアセットバック・ローン(ABL)に「AA」の格付けを付与した。同 ABL は最終的に、事業者向け無担保ローン債権に裏付けられている。オリジネーターはまず金銭信託により第一受益権を取得する。それと同時に、コミットメント・ファシリティ契約に基づく融資枠提供者に第二受益権が交付される。後日、オリジネーターは事業者向け無担保ローン債権を信託譲渡し、信託は融資枠提供者から ABL を借り入れる。信託は、現金準備金積み立て等信託契約に基づく額を控除した金銭を第一受益権の償還の一部に充当する。当該格付けは、同 ABL の利払いが全額遅延なく行われ、かつ法定最終償還期日までに元本が全額償還される可能性について示唆するものである。(小林真紀子)

J-CORE FL1 の CMBS 案件、B-C 号信託受益権を格上げ

スタンダード&プアーズは 13 日、2006 年 12 月に発行された総額 166 億円の J-CORE FL1 信託受益権のうち、B 号を「AA」から「AA+」に、C 号を「A」から「AA-」に、それぞれ格上げした。A 号、D 号、E 号および X 号信託受益権の格付けは据え置いた。サービサーおよび信託銀行から入手した直近の各種レポートによると、2007 年 6 月に当該信託受益権を裏付けている 4 物件のうち 1 物件が売却されたことで、同信託受益権の当初発行金額の約 18%に相当するノンリコースローンが期限前弁済され、同額の信託受益権が償還された。さらに、同 9 月にもう 1 本のノンリコースローン(同信託受益権の当初発行金額の約 31%に相当)の裏付け不動産の売却により当該ローンが期限前弁済され、累積で本信託受益権の約 49%に相当額する額が償還された。今回の格上げは、1) 修正プロラタによる償還であり、あらかじめ定められた割当金額に基づいて信託受益権が償還され、それに伴い信託受益権のローン・トゥ・バリュー(LTV)率が低下し、B 号と C 号の信用補完となる劣後比率が上昇したこと、2) 残存ローンお

よび担保物件が概ね良好なパフォーマンスを示していること——を反映している。（真下美津子）

シナジー・ツー・ファンディング優先受益権の B-E 号を格上げ

スタンダード&プアーズは 14 日、2005 年 9 月に発行されたシナジー・ツー・ファンディング優先受益権のうち B-E 号の格付けを、それぞれ引き上げた。A 号の格付けは「AAA」に据え置いた。同案件は当初、日本国内の金銭債権、商業用不動産や住宅ローン債権などを裏付け資産とする複数の CMBS 社債・信託受益権で構成されたスタティック型キャッシュフロー CDO 案件である。今回の格上げは、裏付け資産プールの償還が進み、それに伴って当該優先受益権の元本償還が進んだために信用補完率が上昇したことを反映している。（松岡聡子）

<海外>

英 HSBC ホールディングスのアウトルックを「安定的」に下方修正

スタンダード&プアーズは 14 日、グローバルに営業展開する金融サービス・グループの持ち株会社、英 HSBC ホールディングスの長期格付けのアウトルックを「ポジティブ」から「安定的」に変更した。同時に、米 HSBC ファイナンス・コーポレーションを含む HSBC ホールディングスの主要子会社のアウトルックも同様に変更した。長期・短期カウンターパーティ格付け「AA-/A-1+」と個別債務格付けはすべて据え置かれた。HSBC ファイナンスのサムライ債（長期優先債券、「AA-」）の格付けも同様に据え置かれた。

独ドレスナー銀行のアウトルックを「安定的」に下方変更

スタンダード&プアーズは 12 日、独ドレスナー銀行の長期格付けのアウトルックを「ポジティブ」から「安定的」に変更した。予測可能な将来における同社の事業収益が、投資銀行部門を中心に悪化していることが主因。カウンターパーティ格付けは「A+/A-1+」に据え置いた。

<新規債券格付け一覧>

日付	発行体 (発行体格付け)	発行条件	債券 格付け
11 月 13 日	伊藤忠商事 (BBB+/ポジティブ/A-2)	第 48 回無担保普通社債 (発行額 1 00 億円、利率 1.9%、償還 2017 年 11 月 20 日)	BBB+
11 月 13 日	住友金属工業 (BBB-/安定的/-)	第 54 回無担保普通社債 (発行額 1 00 億円、利率 1.37%、償還 2013 年 11 月 20 日)	BBB
11 月 14 日	三菱商事 (A/ポジティブ/A-1)	第 67 回無担保普通社債 (発行額 250 億円、利率 1.75%、償還 2017 年 9 月 20 日)	A
11 月 15 日	オリックス (A-/安定的/-)	第 121 回無担保普通社債 (発行額 550 億円、利率 1.64%、償還 2011 年 11 月 28 日)	A-
11 月 16 日	日本政策投資銀行 (AA-/ネガティブ/A-1+)	政府保証付グローバルユーロ債 (発行額 7 億ユーロ、利率 4.75%、償還 2027 年 11 月 26 日)	AA
11 月 16 日	国際協力銀行 (AA/安定的/A-1+)	政府保証付国際協力銀行債 (発行額 10 億米ドル、利率 4.375%、償還 2012 年 11 月 26 日)	AA

注)文中の発行体格付けは「長期/長期格付けに対するアウトルック/短期」で表示

お問い合わせ先:

水口典子(ジャーナリスト)

東京 電話 03-4550-8274

成松恭多(メディア・コンタクト)

東京 電話 03-4550-8411

スタンダード&プアーズ

〒100-0005

東京都千代田区丸の内 1-6-5

丸の内北口ビル 28 階

TEL (03) 4550-8700

FAX (03) 4550-8691

www.standardandpoors.co.jp

www.standardandpoors.com

スタンダード&プアーズ(ザ・マグロウヒル・カンパニーズの一部門)より発行 ©2007 ザ・マグロウヒル・カンパニーズ

本紙の無断転写・複製を禁じます。

ザ・マグロウヒル・カンパニーズ 会長兼社長ーハロルド・W・マグロウⅢ

本社ー1221 Avenue of the Americas, New York, NY 10020, U.S.A.

スタンダード&プアーズ:55 Water Street, New York, NY, 10041, U.S.A.

スタンダード&プアーズ東京:東京都千代田区丸の内 1-6-5 丸の内北口ビル 28 階

本レポートに使用されている情報は信頼しうる筋から入手されたものですが、情報源あるいは本紙その他に人為的または機械的な誤謬が生じる可能性があるため、情報が正確、妥当または完全である旨の保証は致しかねます。さらに誤謬や脱漏などによる損害についても責任を負いかねます。スタンダード&プアーズは格付けに際し、原則として対価を受領しております。格付けの発表については、その権利を留保しており、出版物の講読料を除き料金は受領しておりません。格付けは証券の購入や売却、あるいは保持を奨めるものではなく、また時価や利回り、ある特定の投資家に対するその証券の適合性について言及するものでもありません。